

サルモネラ症が連続発生中！

10月末から管内2戸で牛のサルモネラ症が発生しています。

急に気温が下がるこの時期は、牛の体力が落ちてサルモネラなどの病原体に感染しやすくなります。

サルモネラ症による損害を未然に防ぐため、**本病についてよく理解し予防しましょう！**

サルモネラ症って？

- サルモネラ菌が口から感染する伝染病です。
- **牛に感染すると発熱や下痢**等を引き起こします。また、**人の食中毒の原因**にもなります。
- 集団飼育される**子牛に多発**する病気です。
- 近年は搾乳牛での発生が増加傾向にあります。

どんな症状？

子牛

- ★**主症状は発熱や下痢**
- ・ときに肺炎や関節炎
- ・感染後数日で**死亡**することがあります

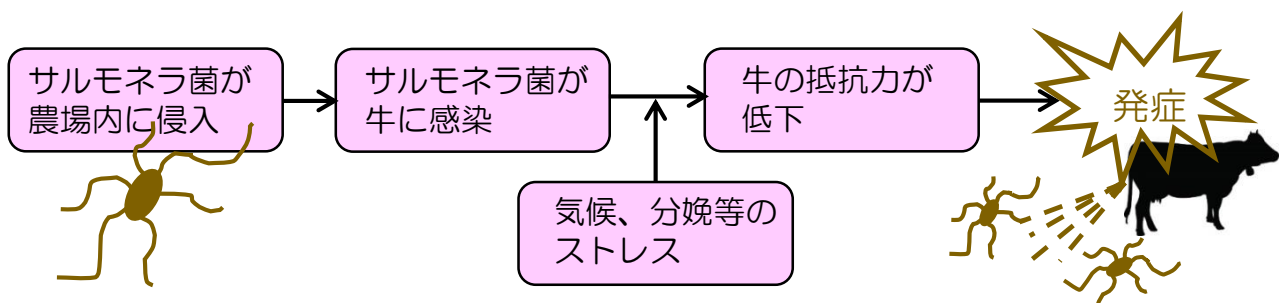
40度以上の発熱
水様性の下痢

搾乳牛

- ・感染しても**保菌牛**になる例が多い
(感染していても発症しない。しかし、糞便中に菌を排出するので他の牛の感染源となる)
- ・突然の**発熱(40度以上)**、**下痢**、**食欲廃絶**、**乳量低下**
- ・ときに肺炎、重症例では死亡
- ・妊娠牛は、早産・流産を起こす場合もあります

どうやって感染するの？

導入牛、人、物、野生動物などによって農場内へ侵入したサルモネラ菌が牛に感染し、**気候、分娩などのストレス**が引き金となり発症すると考えられます。



【参考】 今回の発生事例は？

今回の発生事例は、2戸ともに

- 連続して3～4頭の**哺育牛が死亡**
- 死亡前の症状は**発熱と下痢**

(下痢症状がみられない個体もいたそうです)

という経過から検査を行い、早期に発見することができました。

【畜産農家さんへ ①】 獣医師の診療を受けましょう

40度以上の発熱
水様性の下痢

牛をよく観察し、「おかしいな…」
と思ったら、獣医師に相談してください。



【畜産農家さんへ ②】 サルモネラの侵入を防ぎましょう



消石灰帯



長靴の消毒



野生動物対策



ほ乳器具の消毒

多くの消毒薬が有効です

消毒薬	細菌				ウイルス		カビ	コクシジウム	主な商品名
	一般細菌	ヨーネ菌	サルモネラ菌	芽胞菌	肺炎	下痢			
逆性せっけん	○	×	○	×	○	×	△	×	パコマ、ロンテクト、クリアキル、オスバン
両性せっけん	○	×	○	×	○	×	○	×	パستن、ネオラック、キーエリア
オルソ剤	○	△	○	×	○	△	○	○	タナベゾール、ネオクレハゾール、トライキル
塩素系	○	○	○	○	○	○	○	×	クレンテ、ビルコンS (ヨーネ菌では△)、 サッキンゾール、スミクロール
ヨウ素系	○	○	○	○	○	○	○	×	クリンナップ、リンドレス、バイオシッド
消石灰	○	○	○	○	○	○	○	△	
アルデヒド剤	○	○	○	○	○	○	○	×	グルタプラス、エスクカット、ヘルミン